様式第2号－1

事 業 計 画 書

■当初　　□最終

作成年月日	2022 年 2 月 10 日
法人名	株式会社　地域の風
代表者職名前	代表取締役　中島　康晴
担当者名	[redacted] 連絡先

受理	3 月 9 日
関係者への意見聴取	☑ 市 建築指導課 消防局予防課 開発指導課
	☑ 福山市障がい福祉サービス等の指定に係る懇話会
	□
	□
	□
	□
回答	6 月 1 日

1 協議事項

事業種別	放課後等デイサービス	事業所名	放課後等デイサービスHEROO(ヘローオ)	開設(変更)予定日	2022年7月1日

協議の種類	計画の概要			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				本計画書に記載が必要な項目														
	■ 新規事業所の開設	□ 共生型サービス		○	○	○	○						○	○	○	○	○	○
	□ 事業の追加	■ 共生型サービス以外	■ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		■ 多機能型サービス	■ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		□ 共同生活住居の追加		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○
		□ 上記以外		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○
	□ 大幅な事業内容の変更			○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○
	□ 事業所の移転		□ 新築予定	○	○	○	○						○	○	○		○	
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○						○	○	○		○	
	□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う		○	○	○	○							○	○			
		□ 施設整備を伴わない		○	○	○	○							○	○			

2 事業実施に係る動機

別紙

3 提供サービス

種別	① 放課後等デイサービス	割合	100	%	提供日	
	②	割合		%	■ ■ ■ ■ ■ ■ □	
	③	割合		%	月 火 水 木 金 土 日	
理念	地域や家庭と連携のもとに、児童の状況や発達過程を踏まえ、本人の居場所と役割を通じて、本人の自己有用感を高める支援を行う。家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。					
目標	個性にあった創作活動が出来る環境で豊かな感性を培い、小動物と関わる事で命の大切さを体験し子ども自身が「何々したい」や「何々して幸せ」と言えるような支援を行います。					
同種のサービス	なし					

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地	所在地	福山市木之庄町五丁目34番2号	用途区域	第1種住居区域	
	所有者	[redacted]	抵当権	■ あり	
建物	名称	コミュニティパーク仲良			
	所有者	[redacted]	抵当権	■ あり	
	用途	放課後等デイサービス	構造	鉄骨造	
	階層	2階建て　地上 2 階　地下 階	建築年	2022年6月	年
	建築面積	273.18 ㎡	延面積	514	㎡
事業の概要 ①	種別	放課後等デイサービス			
	手続	新規　使用する階 1 階	専有面積	194	㎡
	収容人員	16 人　内訳　職員 6 人	利用者	10 人	
②	種別				
	手続	使用する階 階	専有面積		㎡
	収容人員	人　内訳　職員 人	利用者	人	
③	種別				
	手続	使用する階 階	専有面積		㎡
	収容人員	人　内訳　職員 人	利用者	人	
内容	申請種別	■ 新築　□ 増築　□ 用途変更　□ 移転　□ その他			
	福山市木之庄町五丁目34番2号に2階建ての建物を建築し1階を放課後等デイサービスに使用する。				

意見

○本件は，都市計画法第4条第12項に規定する「開発行為」に該当しないため，同法第29条第1項の開発許可は不要です。
○建築基準法上の「児童福祉施設等」に該当しますが工事完了後に，検査済証の交付を受けて使用すること。
○消防法上の指摘は次の通り
・防火対象物使用開始届出書，消防用設備等着工届出書及び消防用設備等設置届出書の提出
・防火管理者選任届出書及び消防計画作成届出書の提出
・カーテン及び絨毯を使用する場合は，防炎物品を使用すること。

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
	%	%	日 〆　日回収	
	%	%	日 〆　日回収	
	%	%	日 〆　日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給		意見
管理者(保育士)	■ 常	[redacted]	35	28	万円	○従業者全員確保のめどはたっているか。
児童発達支援管理責任者	■ 常				万円	
保育士	■ 常 □ 非		50	22	万円	
保育士	■ 常 □ 非			22	万円	
児童指導員	■ 常 □ 非			20	万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非			8	万円	
保育士	□ 常 ■ 非		52	10	万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
			月給計	110	万円	

人件費	末 日 〆	翌25 日 支払	ボーナス	7 月	12 月

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高		年間返済額		意見
[redacted]	土地建物取得及び運転資金(備品購入費含む)	10,500	万円	396	万円	
			万円		万円	
			万円		万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金		金額		調達方法	金額		意見
設備資金	土地	2,600	万円	補助金		万円	
	建物	6,000	万円	自己資金	100	万円	
	設備	600	万円	借入金	10,500	万円	
	車両	370	万円				
	その他	380	万円				
運転資金		650	万円				
合計		10,600	万円	合計	10,600	万円	

9 事業の見通し

		1月目		2月目		3月目		1年後		意見
	利用者見込 A	3	人	6	人	6	人	10	人	
	月平均利用額 ※1 (1人当たり)	1.9	万円	2.6	万円	1.9	万円	1.9	万円	
収入	給付費 ※2	0	万円	0	万円	68.4	万円	237.7	万円	
	その他	0.8	万円	4.1	万円	1.5	万円	2.2	万円	
	収入計 ①	0.8	万円	4.1	万円	69.9	万円	239.9	万円	
支出	人件費	110.0	万円	110.0	万円	110.0	万円	115.0	万円	
	旅費・交通費	1.0	万円	1.0	万円	1.0	万円	1.0	万円	
	賃借料	0	万円	0	万円	0	万円	0	万円	
	通信費	2.0	万円	2.0	万円	2.0	万円	2.0	万円	
	諸経費 ※4	20.0	万円	20.0	万円	20.0	万円	20.0	万円	
	支払元金利息	6.6	万円	6.6	万円	6.6	万円	33.0	万円	
	支出計②	139.6	万円	139.6	万円	139.6	万円	171.0	万円	
	収支 ①−②	−138.8	万円	−135.5	万円	−69.7	万円	68.9	万円	
生産活動	収入 B		万円		万円		万円		万円	
	売上高 ※3		万円		万円		万円		万円	
			万円		万円		万円		万円	
	支出 C		万円		万円		万円		万円	
	利用者賃金		万円		万円		万円		万円	
	必要経費		万円		万円		万円		万円	
最賃確保状況(A型) (((B−C)／25)／8)／A			円		円		円		円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)＋全ての加算について記載すること

平日 604単位(基本)+123単位(児童指導員等加配)+15単位(福祉専門員等配置Ⅰ)+108単位(送迎往復)＝850単位
休日 721単位(基本)+123単位(児童指導員等加配)+15単位(福祉専門員等配置Ⅰ)＋108単位(送迎往復)＝967単位

※2 給付費は，サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額		契約書の有無	回収・支払いの条件
		万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間単価	計算式							1月当たりの生産額
	円	×	H ×	日 ×	人 ＝	万円			
	円	×	H ×	日 ×	人 ＝	万円			

※4 諸経費:消耗品，光熱水費，車両管理費，研修費，宣伝広告費，租税公課，社会保険料，レンタル料等

10　付近図

小学校区 樹徳小学校　　人口 8,610 人　事業所数 事業所　利用定員 人

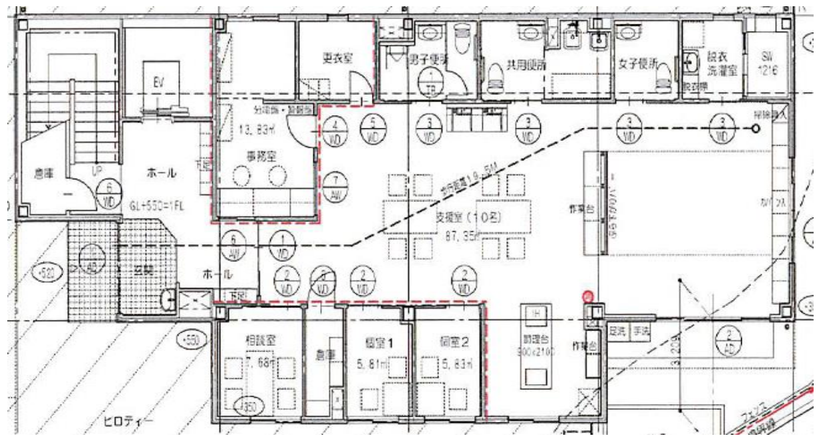
凡例
○ … 事業所
× … 同種の事業所
△ … 一次避難先
□ … 二次避難先

省略

意見

11　平面図

※平面図のデータを貼付



1F

支援室　87.35㎡
個室（Ⅰ）　5.81㎡
個室（Ⅱ）　5.83㎡
事務室　13.83㎡
相談室　7.68㎡
トイレ　3か所
エレベーターあり

意見

12　事業計画

放課後等デイサービス

【定員】　10名
【営業日】　月曜日から土曜日
【営業時間】 9:00～18:00
サービス提供時間　平日（月～金）14:00～17:00
休日（土曜日・祝日・長期休暇）9:30～16:00

【基本方針】
利用児童、保護者にとって安心で安全な場所であるよう、職員への教育・指導を行います。
一人一人の発達過程や障害特性、適応状況を把握します。
地域や家庭と連携のもとに、児童の状況や発達過程を踏まえ、本人の居場所と役割を通じて、本人の自己有用感を高める支援を行います。
家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。

意見
○動機に記載の障がい者と健常者の共体験や対話がどのようにプログラムに活かされていくのか記載すること。

13　利用者処遇

放課後等デイサービスHEROO（ヘローオ）は「主役」を意味し、一人一人が主役となれる支援を行います。

・学校及び自宅への送迎をおこないます。
・子どもの「気づき」や「やろう」とする気持ちを大切にし、見守る。
・「やらせる」ではなく「やろう」とする気持ちを引き出す環境作り。自由に遊びを発展させながら「考える力」・「創る喜び」を育てます。
・一人ひとりの子どもの心に寄り添い、「自分らしさ」を発揮できるように援助します。
・自由にのびのびと意欲的に活動でき「自分にはできる」という自己有用感を育めるように支援します。
・施設外運動場もあり室内が広く、いろいろなことを体験し基礎体力の向上やルールを学び成功体験を増やします。
・花壇で季節の花や野菜を育て、収穫した野菜で一緒に調理をおこない、作る食べるの楽しみを体験します。
・個性にあった創作活動が出来る環境で豊かな感性を培います。
・近隣の連携保育園で飼育しているヤギやウサギと関わる事で命の大切さを体験します。
・子ども自身が「何々したい」や「何々して幸せ」と言えるような支援を行います。
・家庭との連携を大切に、共に子どもとの成長を支え、喜びを分ち合い、明るく安らぎのある環境作りを目指します。

意見
○主な対象年齢について記載すること
○保護者支援，連携について記載すること
○送迎エリアについて記載すること
○年齢別，障がい特性等に応じたグループ分けはあるか
○利用者処遇について具体的に記載すること
○特性の理解やスタッフ教育について考えを記載すること。

14　防災計画

防災マニュアルの策定
洪水時の避難確保計画を策定

消防訓練
・年2回（毎年6月.12月予定）
・避難経路の周知

避難場所
・一時避難先：樹徳小学校
・二次避難先：久松台小学校
・すまいる仁伍（サービス付き高齢者向け住宅）

避難方法
・児童指導員が安全を確認しながら誘導する。
・日頃から交流目的で徒歩で移動する。

意見

15　一日の流れ　　別紙

時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分
時　分 ～ 時　分

意見

様式第2号－2

事 業 計 画 書

□当初　　■最終

作成年月日	2022 年 2 月 10 日
法人名	株式会社　地域の風
代表者職名前	代表取締役　中島　康晴
担当者名	[redacted]

受付印
2022.6.10受付

1　協議事項

事業種別	放課後等デイサービス	事業所名	放課後等デイサービスHEROO（ヘローオ）	開設（変更）予定日	2022年7月1日

協議の種類	計画の概要			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	■ 新規事業所の開設 □ 事業の追加	□ 共生型サービス		○	○	○	○						○	○	○	○	○	○
		■ 共生型サービス以外	■ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		■ 多機能型サービス	■ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		□ 共同生活住居の追加		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○
		□ 上記以外		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○
	□ 大幅な事業内容の変更			○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○
	□ 事業所の移転		■ 新築予定	○	○	○	○						○	○	○		○	
			□ 賃借・自己所有	○	○	○	○						○	○	○		○	
	□ 建物の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う		○	○	○	○							○	○			
		□ 施設整備を伴わない		○	○	○	○							○	○			

2　事業実施に係る動機

別紙

3　提供サービス

種別						提供日
	①	放課後等デイサービス	割合	100	%	
	②		割合		%	■ ■ ■ ■ ■ ■ □
	③		割合		%	月 火 水 木 金 土 日
理念	地域や家庭と連携のもとに、児童の状況や発達過程を踏まえ、本人の居場所と役割を通じて、本人の自己有用感を高める支援を行う。家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。					
目標	個性にあった創作活動が出来る環境で豊かな感性を培い、小動物と関わる事で命の大切さを体験し子ども自身が「何々したい」や「何々して幸せ」と言えるような支援を行います。					
同種のサービス	なし					

4　施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地	所在地	福山市木之庄町五丁目34番2号	用途区域	第1種住居区域	
土地	所有者	[redacted]	抵当権	■ あり	
建物	名称	コミュニティパーク仲良			
建物	所有者	[redacted]	抵当権	■ あり	
建物	用途	放課後等デイサービス	構造	鉄骨造	
建物	階層	2階建て　地上 2 階　地下 階	建築年	2022年6月	年
建物	建築面積	273.18 ㎡	延面積	514	㎡

事業の概要									
	①	種別	放課後等デイサービス						
		手続	新規	使用する階	1	階 専有面積	194	㎡	
		収容人員	16 人	内訳	職員	6 人	利用者	10 人	
	②	種別							
		手続		使用する階		階 専有面積		㎡	
		収容人員	人	内訳	職員	人	利用者	人	
	③	種別							
		手続		使用する階		階 専有面積		㎡	
		収容人員	人	内訳	職員	人	利用者	人	
内容	申請種別	■ 新築　□ 増築　□ 用途変更　□ 移転　□ その他							
	福山市木之庄町五丁目34番2号に2階建ての建物を建築し1階を放課後等デイサービスに使用する。								

主な修正点

○本件は，都市計画法第4条第12項に規定する「開発行為」に該当しないため，同法第29条第1項の開発許可は不要です。
○建築基準法上の「児童福祉施設等」に該当しますが工事完了後に，検査済証の交付を受けます。
○消防法上の指摘は次の通り
・防火対象物使用開始届出書，消防用設備等着工届出書及消防用設備等設置届出書を提出します。
・防火管理者選任届出書及び消防計画作成届出書の提出します。
・防火物品及び防火カーテン使用しています。

5　主要取引先

上段：取引先 下段：所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
	%	%	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	
	%	%	日 〆 日回収	

6　従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給		主な修正点
管理者（保育士）	■ 常	[redacted]	35	28	万円	○グループ法人からの移動も可能であり従業員の確保が出来ている。
児童発達支援管理責任者	■ 常				万円	
保育士	■ 常 □ 非		50	22	万円	
保育士	■ 常 □ 非			22	万円	
児童指導員	■ 常 □ 非			20	万円	
児童指導員	□ 常 ■ 非			8	万円	
保育士	□ 常 ■ 非		52	10	万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
	□ 常 □ 非				万円	
			月給計	110	万円	

人件費	末 日 〆	翌25 日 支払	ボーナス	7 月	12 月

7　借入金の状況

金融機関	理由	借入残高		年間返済額		主な修正点
[redacted]	土地建物取得及び運転資金（備品購入費含む）	10,500	万円	396	万円	
			万円		万円	
			万円		万円	

8　必要な資金と調達方法

必要な資金		金額		調達方法	金額		主な修正点
設備資金	土地	2,600	万円	補助金		万円	
	建物	6,000	万円	自己資金	100	万円	
	設備	600	万円	借入金	10,500	万円	
	車両	370	万円				
	その他	380	万円				
運転資金		650	万円				
合計		10,600	万円	合計	10,600	万円	

9　事業の見通し

		1月目		2月目		3月目		1年後		主な修正点
利用者見込 A		3	人	6	人	6	人	10	人	
月平均利用額 ※1（1人当たり）		1.9	万円	2.6	万円	1.9	万円	1.9	万円	
収入	給付費 ※2	0	万円	0	万円	68.4	万円	237.7	万円	
	その他	0.8	万円	4.1	万円	1.5	万円	2.2	万円	
収入計 ①		0.8	万円	4.1	万円	69.9	万円	239.9	万円	
支出	人件費	110.0	万円	110.0	万円	110.0	万円	115.0	万円	
	旅費・交通費	1.0	万円	1.0	万円	1.0	万円	1.0	万円	
	賃借料	0	万円	0	万円	0	万円	0	万円	
	通信費	2.0	万円	2.0	万円	2.0	万円	2.0	万円	
	諸経費 ※4	20.0	万円	20.0	万円	20.0	万円	20.0	万円	
	支払元金利息	6.6	万円	6.6	万円	6.6	万円	33.0	万円	
支出計②		139.6	万円	139.6	万円	139.6	万円	171.0	万円	
収支 ①-②		−138.8	万円	−135.5	万円	−69.7	万円	68.9	万円	
生産活動	収入 B		万円		万円		万円		万円	
	売上高 ※3		万円		万円		万円		万円	
			万円		万円		万円		万円	
	支出 C		万円		万円		万円		万円	
	利用者賃金		万円		万円		万円		万円	
	必要経費		万円		万円		万円		万円	
最賃確保状況（A型）（((B−C)／25)／8)／A			円		円		円		円	

※1　月平均利用額（1人当たり）の積算根拠

基本報酬（サービス費）＋全ての加算について記載すること

平日　604単位（基本）+123単位（児童指導員等加配）+15単位（福祉専門員等配置Ⅰ）+108単位（送迎往復）＝850単位
休日　721単位（基本）+123単位（児童指導員等加配）+15単位（福祉専門員等配置Ⅰ）＋108単位（送迎往復）＝967単位

※2　給付費は，サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること（例：4月サービス提供→5月請求→6月振込）

※3　主な受注作業取引先（生産活動を行う場合に記入）

上段：受注先 下段：所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり　□ なし	

※3　主な事業所内生産品（生産活動を行う場合に記入）

生産品	1時間単価	計算式					1月当たりの生産額
	円	×	H ×	日 ×	人 ＝		万円
	円	×	H ×	日 ×	人 ＝		万円

※4　諸経費：消耗品，光熱水費，車両管理費，研修費，宣伝広告費，租税公課，社会保険料，レンタル料等

10 付近図

小学校区 樹徳小学校　　人口 8,610 人　事業所数 事業所　利用定員 人

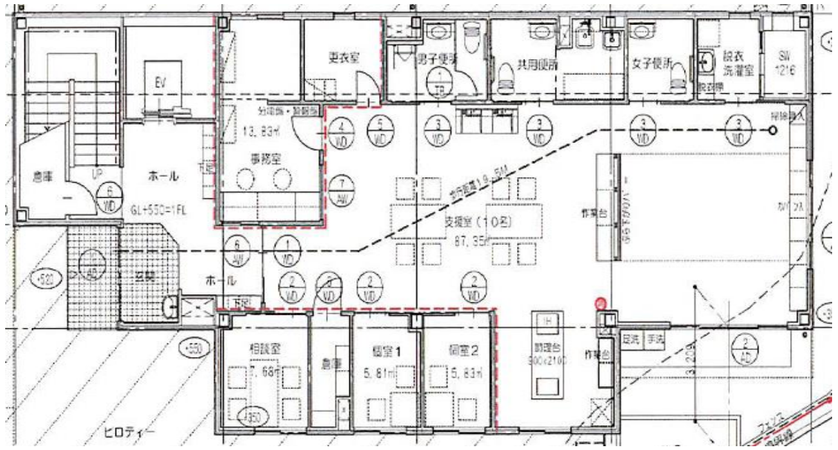
凡例
○ … 事業所
× … 同種の事業所
△ … 一次避難先
□ … 二次避難先

省略

主な修正点

11 平面図

※平面図のデータを貼付



1F

支援室　87.35㎡
個室（Ⅰ）　5.81㎡
個室（Ⅱ）　5.83㎡
事務室　13.83㎡
相談室　7.68㎡
トイレ　3か所
エレベーターあり

主な修正点

12 事業計画

放課後等デイサービス
【定員】　10名
【営業日】　月曜日から土曜日
【営業時間】 9:00～18:00
サービス提供時間　平日（月～金）14:00～17:00
休日（土曜日・祝日・長期休暇）9:30～16:00
【基本方針】
利用児童、保護者にとって安心で安全な場所であるよう、職員への教育・指導を行います。一人一人の発達過程や障害特性、適応状況を把握します。
地域や家庭と連携のもとに、児童の状況や発達過程を踏まえ、本人の居場所と役割を通じて、本人の自己有用感を高める支援を行います。家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。
障害者との関りが少ない環境のなか、地域行事や高齢者や職員との対話や交流を通し挨拶等のマナーを伝えていき、日常生活における「できる活動」を増やしていくようにします。健常者である地域住民やグループ事業所の職員・家族との交流をし、日々の活動を通じて学ぶ機会を増やし障害についての理解をしていただけるように取り組んで行きます。

主な修正点
○健常者である地域住民やグループ事業所との交流の中で、障害についての理解をしていただけるように、日々の活動を通じて学ぶ機会を増やして行くことを目標に取り組んで行きます。
○下線部を追記しています。

13 利用者処遇

放課後等デイサービスHEROO（ヘローオ）は「主役」を意味し、一人一人が主役となれる支援を行います。
【対象年齢】 6歳（小学校1年清）～18歳（高校3年生）
【送迎】あり。学校及び自宅、福山駅・支援学校バス停留所（概ね片道30分以内。相談に応じます）
・子どもの「気づき」や「やろう」とする気持ちを大切にし、見守り、「やらせる」ではなく「やろう」とする気持ちを引き出す環境作り。自由に遊びを発展させながら「考える力」・「創る喜び」を育てます。
・家庭との連携を大切に、共に子どもとの成長を支え、喜びを分ち合い保護者支援・連携ができるよう、その都度の相談と日頃から子どもの様子、状況をお伝えし、発達状況や状況について共通理解できるようにいたします。また、保護者会の開催も行います。
・一人ひとりの子どもの心に寄り添い、「自分らしさ」を発揮できるように援助します。（年齢、性別、特性に応じたグループ分けはありません）学童保育型を中心に手作りのゲームや工作を得意とした先生による活動や個々にあった、学習支援・対人関係スキルを身につける等の療育を行います。
・自由にのびのびと意欲的に活動でき「自分にはできる」という自己有用感を育めるように支援します。
・施設外運動場もあり、活動や遊びの中で体験し基礎体力の向上やルールを学び成功体験を増やします。
・花壇で季節の花や野菜を育て、収穫した野菜で一緒に調理をおこない、作る食べるの楽しみを体験します。
・個性にあった創作活動が出来る環境で豊かな感性を培い、連携保育園で飼育しているヤギやウサギと関わる事で命の大切さを体験します。
・定期的な勉強会や他施設での研修を行います。学習資料などを用い、少しづつ個々に沿ったレベルアップを心がけています。スタッフ全員が毎日コミュニケーションをとり子どもたちの把握、事故防止をふせぎスタッフ等の研修に努めます。

主な修正点
○下線部を追記しています。

14 防災計画

防災マニュアルの策定
洪水時の避難確保計画を策定

消防訓練
・年2回（毎年6月.12月予定）
・避難経路の周知

避難場所
・一時避難先：樹徳小学校
・二次避難先：久松台小学校
・すまいる仁伍（サービス付き高齢者向け住宅）

避難方法
・児童指導員が安全を確認しながら誘導する。
・日頃から交流目的で徒歩で移動する。

主な修正点

15 一日の流れ　　別紙

時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			
時	分	～	時	分			

主な修正点